



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6440 URL <https://www.juki.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清原 晃  
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)南 大造 (TEL)042-357-2211  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	51,885	△2.5	2,595	△28.9	2,107	△33.7	1,436	△26.0
2018年12月期第2四半期	53,235	10.0	3,650	0.9	3,178	△11.5	1,942	△19.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 686百万円 (△30.6%) 2018年12月期第2四半期 988百万円 (△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	49.04	—
2018年12月期第2四半期	66.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	117,963	37,034	30.8
2018年12月期	119,121	37,241	30.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 36,316百万円 2018年12月期 36,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	114,000	1.7	7,300	△20.2	6,800	△18.9	5,000	△24.7
								170.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期2Q	29,874,179株	2018年12月期	29,874,179株
2019年12月期2Q	578,601株	2018年12月期	578,403株
2019年12月期2Q	29,295,696株	2018年12月期2Q	29,296,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における事業環境は、米国経済が安定的に成長する一方で、米中貿易摩擦の長期化、中国における景気減速や、英国のEU離脱問題等により、世界経済は不安定さを増してきております。

一方、AI、IoT、クラウド等への関心が高まるなど、技術革新の動きはますます加速しており、デジタル化、システム化の活用等、スマートカンパニー・ファクトリーへのお客様の積極投資ニーズも高まってまいりました。

このような環境認識のもと、当第2四半期連結累計期間においては、現中期経営計画のビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」を目指し、“モノづくり”から“コトづくり”企業への転換を図ってまいりました。具体的には、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスの提供や工場全体の生産効率を高めるスマートファクトリー等を提案するソリューション営業活動を推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケット開拓等による将来に亘る磐石な顧客基盤の構築や、グループ事業等将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出に取り組んでまいりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間においては、上記事業環境の変化などにより中国、欧州での売上が減少したことから、売上高は518億8千5百万円(対前年比2.5%減)となりました。

利益面につきましては、コストダウン等による利益率の改善を図りましたが、売上減少や工場稼働率低下の影響、ミドルマーケット開拓の推進、先端開発費の増加等により営業利益は25億9千5百万円(対前年比28.9%減)、経常利益は21億7百万円(対前年比33.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億3千6百万円(対前年比26.0%減)となりました。

(主なセグメント別の概況)

#### ① 縫製機器&システム事業

市場別では、アジアにおけるミドルマーケットでの売上が堅調に推移する一方で、中国、欧州での売上が減少したことから、縫製機器&システム事業全体の売上高は341億9百万円(対前年比1.9%減)となりました。一方、利益面においては、売上減少の影響やミドルマーケット開拓の推進などにより、セグメント利益(経常利益)は18億1千1百万円(対前年比12.1%減)となりました。

#### ② 産業機器&システム事業

産業装置では、米国での売上が堅調に推移し、機種別では新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置等の売上が増加しましたが、一方で中国、欧州での売上が減少し、産業機器&システム事業全体の売上高は176億5千4百万円(対前年比3.6%減)となりました。利益面においては、売上減少の影響や先端開発費の増加などにより、セグメント利益(経常利益)は11億7千7百万円(対前年比34.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、リース会計変更に伴い有形固定資産が増加したものの受取手形及び売掛金やたな卸資産などが減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ11億5千7百万円減少して1,179億6千3百万円となりました。負債は、短期借入金などが増加したものの支払手形及び買掛金などが減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ9億5千万円減少して809億2千9百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加はあったものの、為替換算調整勘定のマイナスが増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少して370億3千4百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は30.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億4千4百万円の収入(前年同期は18億8千万円の収入)となりました。売上債権やたな卸資産は減少したものの、仕入債務が減少したことなどで前年同期より収入は減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億6千6百万円の支出(前年同期は10億5千1百万円の支出)となりました。工場設備などの有形固定資産の取得などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億4千6百万円の収入(前年同期は4百万円の支出)となりました。短期借入金が増加したことなどによるものです。

これらの結果として、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より9億3千1百万円増加して82億3千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の連結業績予想につきましては、米中貿易摩擦などにより当面の為替動向や新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値(2月12日)から変更しておりません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,324	8,236
受取手形及び売掛金	33,465	32,266
たな卸資産	43,516	42,493
その他	2,825	3,189
貸倒引当金	△387	△405
流動資産合計	86,744	85,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,890	11,615
土地	6,362	6,362
その他(純額)	4,888	5,464
有形固定資産合計	23,141	23,442
無形固定資産		
投資その他の資産	1,992	1,945
その他	8,645	8,110
貸倒引当金	△1,402	△1,317
投資その他の資産合計	7,242	6,792
固定資産合計	32,376	32,181
資産合計	119,121	117,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,145	8,871
電子記録債務	5,140	3,949
短期借入金	35,901	38,723
未払法人税等	1,115	694
賞与引当金	38	40
その他	5,926	6,282
流動負債合計	59,266	58,561
固定負債		
長期借入金	16,153	16,029
役員退職慰労引当金	68	57
退職給付に係る負債	5,582	5,203
その他	809	1,077
固定負債合計	22,613	22,367
負債合計	81,880	80,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	19,610	20,167
自己株式	△607	△607
株主資本合計	39,082	39,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	407
為替換算調整勘定	△2,973	△3,680
退職給付に係る調整累計額	△38	△51
その他の包括利益累計額合計	△2,552	△3,324
非支配株主持分	711	718
純資産合計	37,241	37,034
負債純資産合計	119,121	117,963

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	53,235	51,885
売上原価	37,177	36,463
売上総利益	16,057	15,421
販売費及び一般管理費	12,407	12,826
営業利益	3,650	2,595
営業外収益		
受取利息	18	18
受取配当金	109	113
貸倒引当金戻入益	156	66
その他	353	263
営業外収益合計	637	462
営業外費用		
支払利息	401	399
為替差損	670	502
その他	36	48
営業外費用合計	1,109	949
経常利益	3,178	2,107
特別利益		
固定資産売却益	13	6
特別利益合計	13	6
特別損失		
固定資産除売却損	16	6
特別損失合計	16	6
税金等調整前四半期純利益	3,175	2,106
法人税等	1,177	641
四半期純利益	1,998	1,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,942	1,436



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,998	1,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	△50
為替換算調整勘定	△817	△716
退職給付に係る調整額	△4	△12
その他の包括利益合計	△1,009	△779
四半期包括利益	988	686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944	665
非支配株主に係る四半期包括利益	43	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,175	2,106
減価償却費	1,199	1,404
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△132	△53
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△31	△111
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△38	82
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	3
受取利息及び受取配当金	△127	△131
支払利息	401	399
為替差損益(△は益)	△34	11
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	△329	588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,242	128
仕入債務の増減額(△は減少)	1,713	△3,333
割引手形の増減額(△は減少)	42	0
その他	1,158	540
小計	2,770	1,634
利息及び配当金の受取額	127	132
利息の支払額	△403	△400
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△614	△1,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,880	144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,256	△913
有形及び無形固定資産の売却による収入	133	25
その他	71	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,213	2,782
長期借入れによる収入	4,651	4,670
長期借入金の返済による支出	△4,723	△4,512
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,021	△875
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△20	△1
その他	△103	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4	1,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	△197	△191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	627	931
現金及び現金同等物の期首残高	6,335	7,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,963	8,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号（リース）を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,769	18,323	53,092	142	53,235	—	53,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	479	200	679	231	911	△911	—
計	35,248	18,523	53,772	374	54,146	△911	53,235
セグメント利益	2,062	1,801	3,863	31	3,895	△716	3,178

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△716百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△711百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,109	17,654	51,764	121	51,885	—	51,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	606	83	689	237	926	△926	—
計	34,716	17,737	52,454	358	52,812	△926	51,885
セグメント利益	1,811	1,177	2,989	40	3,029	△922	2,107

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△922百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△925百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。